



議 会 報 告 第 12 号

(ホームページもご覧ください <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一

3 月定例会より 報告 (26 年第 1 回定例会)

26 年 3 月 30 日発行

新中核病院の行方

———2 市合意———

2 転、3 転した筑西市と桜川市の協議は一応の合意を見ました。県西総合病院は 150 床程度で存続、今後はこれを桜川市が単独で運営する、新中核病院は病床数 300 を確保し筑西市が単独で建築する、補助金 13 億円は筑西市が活用する、建設場所は改めて筑西市が決定する。

筑西市は、今後早急に建設推進会議を立ち上げ、基本計画を立てなければなりません、年度末という時期に当たり、人選や会議の日程が遅々として進みません。おそらく第 1 回会議は 5 月となるでしょう。

医師確保、看護師確保に本腰を入れなければなりません。医療関係者が一番懸念している問題です。これまでの経過は政治領域であり、本格的医療領域の話はこれからです。診療科、他病院との連携、大学病院の支援、病院経営。

基本計画の後、基本設計、実施設計へと進むには 1 年を要します。市民の皆様は、完成予想図を見せられるのは、1 年以上先になりそうです。

建設場所

筑西市内での建設場所が白紙状態です。茂田地区は、桜川市の意向を汲んだものでしたので、これに代わり現在の市民病院の跡地が浮上しています。今後のスピードを考えれば市所有地が適しています。

不測の事態

ここまで来て後戻りする事態は考えにくいですが、桜川市にとって県西総合病院を単独で整備・運営することに不安がよぎります。整備費に 50 億円を要するようですが補助金はありません。また、今後桜川市民病院としての経営は厳しいものが予想されます。桜川市議会選挙が 9 月に予定されていますが、これを睨んで先の合意に異を唱える可能性はゼロではありません。

私が一般質問で、新中核病院と県西総合病院は両立できるのか、と問うと、企画部長は、両立は難しいと考える、と答弁しています。



26 年度予算成立

一般会計 402 億円 (前年比 26 億円増)

特別会計 264 億円 (前年比 11 億円増)

歳入の主なもの

市 税 . . . 138 億 3800 万円 (前年比▲3 億円)

地方交付税 . . . 75 億円 (前年比 4 億円増)

国庫支出金 . . . 50 億 2900 万円 (前年比 8 億円増)

市 債 52 億 6000 万円 (前年比 16 億円増)

歳出の増加の要因は、学校給食センター (14 億円)、協和庁舎整備 (7 億 9 千万円)、筑西幹線道路関連 (3 億 3 千万円)、臨時福祉給付金 (消費税引き上げ影響を緩和するための給付) 4 億円。これに対して、国からの交付金・支出金のほか、市債 (市の借金) を増発しています。

合併特例債の活用

合併特例債は、合併を超えた自治体に認められる有利な借金です。借入額のおおよそ 7 割を後々国が負担してくれるものです。合併から 10 年間という規制があり、26 年度で終了予定でしたが、3.11 震災の被災県ということでさらに活用機関が 10 年間延長されました。

筑西市はこれまで計画的に合併特例債を活用してきました (累計で 177 億円)。26 年度の市債 52 億円のうち 30 億円は合併特例債です。今後 10 年間、合併後の新市形成の仕上げのために、さらに有利に活用すべきです。

26 年度の活用計画事業：協和庁舎整備、学校耐震化、給食センター整備事業、筑西幹線道路、中島西榎生線

<p>本庁舎の耐震補強工事が決定</p> <p>前回で本庁舎の耐震補強工事の入札が不調であったことを伝えましたが、先月 8,900 万円で無事落札されました。本来もう少し予算を取るべきでしたが、応急的補強という範囲をこえない程度でしょう。しかし応急的であっても震度 6 強に耐えるものであり、結果的に 15 年以上の耐用年数が生まれます。</p> <p>この本庁舎を 2 年後に廃棄して、スピカビルに移転するとすると矛盾を生じます。本庁舎としての役割なら、現庁舎の方がスピカビルより適しています。</p>	<p>医師修学資金貸与条例 成立</p> <p>本市の医師確保のため、将来筑西市内の病院に勤務しようとする意思を持つ医学部学生に修学資金を貸与する制度が成立しました。入学金 1000 万円まで、修学金は月々 30 万円。毎年 2 名を予定。</p> <p>消費税が 8%へ移行するに伴う条例改正</p> <p>農集排使用料、下水道使用料、水道料金、市民病院診療料、が改正されます。</p>
<p>どうなる市民病院</p> <p>医師不足が深刻です。現時点では常勤医は 5 月から 6 人の見込み。なんとか診療が維持できる水準ですが市の財政負担は 8 億円を超えます。これは昨年度と同じ。今後新中核病院開院まで 5 年を要しますので 40 億円を超える支出です。市長始め職員が全力で取り組んでいることは事実であり、そうであれば、早期の無床診療所化も真剣に検討すべき時期に来ています。</p>	<p>専決処分事案</p> <p>○市職員が運転する車が自転車に接触し相手怪我。場所はスピカ立体駐車場出口、この賠償額が 300 万円。</p> <p>○市税滞納のため預金差押えを執行したところ、別人の預金口座であった。同性同名で生年月日まで同じ。この損害賠償額 190 万円。</p> <p>専決処分：本来議会議決事項であるが、事情により市長が先行して決裁し後から報告し、または承認を得ること</p>

一般質問



<p>本庁舎の整備計画について</p> <p>質問：市長は就任早々本庁舎移転構想を表明し、既定路線としてことを進めています。移転先は駅前のスピカビル。1 市 3 町が合併して誕生した新市の本庁舎を決めることに際し、審議会を立ち上げ真正面から議論すべきではないですか。</p> <p>市長：これまでの経緯や現状、課題、議会や地元自治会の要望などを踏まえ、スピカビルは本庁舎を含む市民サービス施設、商業施設の複合施設として活用することが最良と考えた。</p> <p>質問：スピカビルの空きビル対策のために本庁舎を移転する印象が拭えない。庁舎移転の正当性それ自体を検討</p>	<p>し、市建設計画に盛り込むべきではないですか。</p> <p>企画部長：合併特例債の活用が想定される事業として本庁舎のスピカビルへの移転事業を見込んでいる。</p> <p>.....</p> <p>本庁舎の移転に関して、真正面から議論すべきではないという主旨の質問でしたが、スピカビルが最適だという答弁でした。かみ合いません。そもそも耐震補強する現庁舎を移転する必要があるのか、移転工事に合併特例債を使うなら 10 年先でもよいはず。本庁舎移転は 3 分の 2 の重要議決。他市では移転に数年かけて議論します。</p>
--	---



<p>筑西市建設計画と筑西幹線道路</p> <p>質問：現在駅南地区に新しい都市計画道路が建設中です。市役所からヤマシンを通り南へまっすぐ伸びる中島西榎生線。そして筑西幹線道路（一本松・茂田線）。すでに駅南線（駅前からカスミストアを通り関本本社へ続く通り）があります。中心市街に近く道路アクセスが良く真っ平です。この地の有望性は、前市長、現市長も議会答弁で認めています。新市計画ではどのような位置づけか</p> <p>企画部長：本計画では筑西幹線道路は、新市の都市軸と</p>	<p>して骨格的プロジェクト等にも記載され古河市方面との連携強化事業を推進している。沿線開発等については特段の記述はありませんが、都市計画マスタープランでは、総合機能の集積地として道路整備に合わせた拠点形成を図る地区と定められており、筑西幹線道路開通後の交通量を勘案しながら、今後検討してまいりたい。</p> <p>.....</p> <p>前向きであることは評価したいですが、開通後の交通量を勘案するまでもなく、沿道開発は必要だと思います。民間施設の誘致を積極的に進めるべきです。</p>
---	---